

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月18日更新

事務事業名	健康都市こうし推進事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	田中 景子
	施策の柱	19	病気になるない生活習慣の確立			所属班	健康政策班	(内線)	1637
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 25	事業連番 11669	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本市は「健康都市こうし」として、市民の健康、行財政の健康の2本を骨子に掲げ推進しており、「健康都市こうし」の実現を図る一翼を担うものである。本事業では、「健康都市こうし推進協議会」を設立し、健康寿命と平均寿命の乖離を是正し、医療費適正化、また、健康産業市場の開拓・育成を図り、自立して持続的な成長が可能な市場の形成を行う。また、国が2025年を目途に構築を推進している「地域包括ケアシステム」を見据え、医療・介護・健康政策のみならず、地域政策の根幹としての位置付けを目指す。
【業務の流れ】	ウエルネスシティこうしが中心となり、健康活動を取組む市民へ、①健康活動の参画者へのポイント付与②地元物産館でのポイント利用のスキームを構築し、市民の健康活動を地域経済の好循環創造に繋げ、地元農業従事者等の仕事支援を実現させるビジネスモデルを確立する。 具体的には、公園等のウォーキングコースへ筐体システムを整備し、ウォーキングへのインセンティブとしてポイントを付与し、地元物産館での購入にポイントを利用できる仕組み(以下10ウォークという)を構築することにより、日常的にウォーキングを行う機会を提供することで、市民の健康増進・食育への関心を高める。市民参画の機運醸成を図ることを目的に、ウォーキング及び食育を中心とした、健康増進スポーツ大会や教室等を実施する。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、報酬、共済費
【意見や要望】	本事業の根幹にあるものは市民の心と身体の健康であるため、関係者との整合はとれている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	健康都市こうしを目指す本市が産学官連携の地域版ヘルスケア産業協議会「ウエルネスシティこうし」を構成し、ウォーキング大会やリレーマラソン、よかとことウォーキング、こうし健康ポイント事業や子育てママリフレッシュ健診などの健康教室等により、市民の健康増進や健康産業創出を図った。(R2.3.31現在会員: 4,203人)	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ウエルネスシティこうし事務局運営の負担金として支出予定。健康ポイント事業を委託にて実施予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 団体の → イ ウエルネスシティこうし正会員数	予算の主な増減の理由 健康都市こうし推進事業負担金の減と地域おこし協力隊の報酬及び補助金の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民・企業		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人の → イ ウエルネスシティこうし会員数(市民)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健康活動や食育に取組む機運醸成		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % → イ 心身が健康だと感じる割合
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 地方創生推進交付金が今年度で終了するとともにウエルネスシティこうしの自走化を目指していたが、筐体の在り方の見直しを含め、ウエルネスシティこうしの自走化のための事業を計画したため		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

各指標・総事業費の推移	単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 団体 イ	14	13	15	13	16	16	16	16
② 対象指標	ア 人 イ	3,775	4,064	4,100	4,203	4,210	4,220	4,250	4,300
③ 成果指標	ア % イ	48	55.6	54.3	49.7	54.4	54.5	54.6	54.7
投資入費量	財源内訳	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	国庫支出金	7,500	7,000	6,500	6,500	5,000	5,000	5,000	
	都道府県支出金								
	地方債						1,000	1,000	1,000
	その他								
	繰入金								
	一般財源	7,640	7,140	10,509	6,620	5,249	5,249	5,249	7,258
	(A) 事業費計	15,140	14,140	17,009	13,120	11,249	11,249	11,249	7,258
	(A)のうち指定経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	人	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
正規職員従事人数	0	3	1	3	1	1	1	1	
延べ業務時間	0	1,200	200	1,196	100	100	100	100	
(B) 人件費計	0	4,730	796	4,739	398	398	398	398	
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,140	18,870	17,805	17,859	11,647	11,647	11,647	7,656

事務事業名	健康都市こうし推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 AGEセンサの購入や講演会の開催、プレミアム健診や子育てママリフレッシュ健診により新たな会員の獲得につながった。また、産学官連携により、自走化に向けた新たな事業創出するための準備を行うことができた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 自走化に向け事業をウエルネスシティこうしの正会員数を確保し、さらなる個人会員の増加を目指す。成果指標へ寄与できると考える。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 新規事業の創出や会員の増加により、さらなる事業の展開が可能と考える。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市内唯一の地域版次世代ヘルスケア産業協議会であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 地方創生推進交付金により、ウエルネスシティこうしの運営を行っているが、次年度以降の自走化のために実証事業等を行うため、削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 正会員の一人として、事務局運営等を確認する必要がある。また推進交付金を支給していることから、予算管理についても確認するため、最小限の事務で行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市・市民に平等にサービス向上を図るための参画事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ウエルネスシティこうしが事務局機能を有しており、正会員の一人として官民連携して活動していることから、行政が役割を担う部分のほかは役割分担して行っているため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成31年度においては、地方創生推進交付金を活用して、ウエルネスシティこうしの活動支援を行ってきた。個人会員の増加につなげることができ、市民の健康意識の向上に寄与してきた。また、新たな産学官連携の枠組みの中で、自走化に向けて事業を実施できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 令和2年度より、所管が秘書政策課へ変更	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 自走化に向け事業の見直しや新規事業の創出を行っているが、準備期間が足りず、完全な自走化に至っていない。令和2年度より新たな地方創生推進交付金等事業を取り組むことで、自走化を目指す																						